

2026 年度 東京大学 前期 世界史探究

第 1 問

(1)モンゴル帝国解体後、中央アジアでティムール朝が興りイランも支配した。この王朝ではイランとトルコのイスラーム文化が交わり、ペルシア語の文芸や写本絵画が発達した。遊牧ウズベクにより王朝が滅びると、イランに成立したシーア派のサファヴィー朝の支援を受け、ティムールの子孫バーブルがインドに侵入してムガル帝国を建てた。アクバルはヒンドゥー教徒との融和を図りジズヤを廃止したが、厳格なスンナ派のアウラングゼーブはジズヤを復活させた。帝国ではイラン＝イスラーム文化とインド文化が融合し、公用語のペルシア語と現地語が融合したウルドゥー語や、写本絵画の影響を受けたムガル絵画が生まれ、霊廟タージ＝マハルも建設された。(問題番号含め 300 字)

(2)トルデシリャス条約でアジアを勢力圏としたポルトガルは、ヴァスコ＝ダ＝ガマのかりカット到達でインド航路を開拓、マムルーク朝艦隊を撃破してムスリム商人を抑え、ゴアを征服して総督府を置いた。セイロンやマラッカ王国の征服でインド洋制海権を確立してマルク諸島に到達、武力による香薬交易支配を図ったが独占はできず、アジア内中継貿易へ参入した。東アジアではマカオを拠点に、倭寇とも提携して平戸・長崎と結ぶ日明間の中継貿易を行い、並行してザビエルらイエズス会士のキリスト教布教を支援した。17 世紀には江戸幕府がキリスト教布教とポルトガル船来航を禁止し、蘭がマラッカ・セイロンを奪うと、ポルトガルはアジアから後退した。(問題番号含め 300 字)

第 2 問

(1)(a) 清貧と労働を重視したシトー修道会は領主の誘致に応じて森林や荒地を開墾する運動の先頭に立ち、農業技術向上にも貢献した。(問題番号・記号含め 60 字)

(b)11 世紀以降の温暖化が 14 世紀に寒冷化に転じると、飢饉や凶作が相次ぎ、黒死病も流行して人口が減少した。労働力不足で農奴の地位が向上し、都市に流入する農民が増え、封建社会が動揺した。(記号含め 89 字)

(c) ア

(2)(a) イブン＝バットウータ

(b)ムスリム商人がダウ船で季節風を利用したインド洋交易を行い、インド・東南アジアの香薬や中国の陶磁器・絹を西方に運んだ。(記号含め 59 字)

(c)マムルーク朝はシリアでイル＝ハン国のモンゴル軍を撃退し、アッコから十字軍を駆逐してメッカ・メディナの保護権も得た。(記号含め 59 字)

2026 年度 東京大学 前期 世界史探究

(3)(a)モスクワ大公イヴァン4世はヴォルガ流域に進出, 毛皮を求め, コサックの首領イェルマークの協力を得てシベリアに進出した。(問題番号・記号含め 60 字)

(b)独露再保障条約更新拒否を受け露仏同盟を結んだロシアは, 仏資本を利用しシベリア鉄道を建設した。工業化の進む国内では社会主義思想が広がり, 対日三国干渉で遼東半島を返還させ, 見返りに東清鉄道敷設権を得るなどの極東進出は日英との対立を拡大させた。(記号含め 120 字)

第3問

問(1) 青年トルコ革命

問(2) ヴァイマル憲法

問(3) 公民権運動

問(4) ウ

問(5) ヴォルテール

問(6) ア

問(7) サッフオー

問(8) 則天武后(武則天)

問(9) ナポレオン法典

問(10) 総力戦